六ヶ所村立郷土館通信
2023.3.9 No116

六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

環境を守るわたしたち！

３月１３日（月）に、六ヶ所村立南小学校の５年生の学級において、「六ヶ所村の豊かな水資源をまもる授業」が行われます。講師は、（公財）環境科学技術研究所の農学博士山上睦氏です。山上氏は、田面木沼の水質浄化の研究をされています。浄化植物を活用した水質改善の取り組みです。

また、地元の植物（ミズバショウやノハナショウブ、ニッコウキスゲ）を沼の周辺に植え、環境保全を行いながら、子どもたちが浄化改善の取り組みを学べる「自然教育園」の構想もお持ちです。この取り組みは、小学校５年生の社会科の学習「環境を守るわたしたち」と内容がピッタリ。そこで、郷土館としては、山上氏の取り組みを地域教材化し、副読本として村内の各小学校に配布いたしました。

子どもたちが、沼の水質の現状を知り、自分たちにできることを考える授業を、第一弾として、南小学校で行うこととなりました。実際に、田面木沼の水質検査も子供たちが行います。子どもたちが、どんな感想を持ち、これからの生活に活かしてくれるか楽しみです。

水をきれいにする試験場の位置 ※出典:国土地理院地図を一部加筆

A 地点:平沼川のヨシ原

B 地点:沼の水かけ流し式浄化実験装置

※写真の出典 ： 山上睦 （2023）「田面木沼流入水浄化試験調査報告書」（公財）環境研

夏になると田面木沼にアオコが大量発生し、悪臭を放っています。そこで、平沼川の水をきれいにして田面木沼に流す試験（A 地点）と田面木沼の水を組み上げてきれいにする方法及び酸素を沼に送り込んできれいにする方法（B 地点）を研究しています。

山上さん